

2011年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録4限目》

投稿者：「防災塾・だるま」 中島光明

《講座メインテーマ》

東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり

◆開催月日：2011年10月20日(木)

◆開催時間：14:30～16:30

◆開催場所：KU ポートスクエア

◆本日のテーマ◆被災地からのニーズと支援の実態：課題とあり方

被災地のニーズは何か、支援はどう応えようとし、どんなギャップや課題があるのか、実態を踏まえて分析し、これから先の支援の在り方を提言する。



《講師》植山利昭氏（神奈川災害ボランティアネットワーク）

《神奈川災害ボランティアネットワーク(KSVN)の3/11以降の活動》

- ・「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」の発足
 - 神奈川県・県社協・KSVN の三者協定を締結
 - ボランティアの登録 5,000 人を突破
- ・ボランティアバスの派遣(宮城便、岩手便)
- ・ボランティア現地宿泊施設「**かながわ金太郎ハウス**」を設置(40名宿泊可能)
- ・ホームページ開設：<http://ksvn.jp/>

《被災地の実態：支援の課題とあり方》

- ・被災地の圧倒的な広さ(6県下)と津波の甚大な被害
- ・原発事故の問題
- ・避難民が9万人以上
- ・ボランティアセンターのコーディネーター人材不足
- ・7か月を経過して支援内容が変わり目に来ている
- ・これからの支援の課題
 - 在宅被災者への支援
 - 仮設入居者の冬期対策
 - ハード的からソフト的支援へ(カフェ、見守り、イベント)



司会者と講師（小原氏、森氏、植山氏、渡辺氏）



講師に質問と
受講風景



講師・森清一氏

《まとめ》

1. 被災地支援は、復興につながるまちづくりの視点からも長期的なものとなる。
2. 被災地支援のボランティア活動は、神奈川県内の地域防災力を高める。

被災地支援活動には「**かながわ金太郎ハウス**」
(**岩手県遠野市**)を活用しよう！